

## 補助事業成果書

### 1 補助事業の実施方法

#### 1. 1 まち案内

案内所において、本協会が募ったボランティアが、下北沢近隣の住民と下北沢に来訪する人々に対して、「道案内や散策路」と世田谷区が実施している「下北沢駅周辺の街づくりの取り組み」などについて、まち案内をします。ボランティアの公募や日程調整、手順指導、交通費補助費の支給などの運営管理を本協会の担当者1名が実施します。まち案内の活動そのものは、主として、募ったボランティアが行ないます。

#### 1. 2 清掃活動拠点としての案内所の利活用

現在の下北沢駅周辺では、世田谷区が駅前広場を整備中であり、駅周辺にオープンスペースができたことにより、ごみのポイ捨てや路上飲み・路上喫煙等が課題となっています。駅周辺の清掃活動を商店街や町会などのボランティアが実施していますが、清掃活動に必要な備品の保管や清掃するボランティアの手荷物の一時保管などのような、清掃活動の拠点にするために必要な事項をとりまとめ、そのための整備及び管理を本協会の担当者1名が実施します。

### 2 補助事業の成果の具体的内容

#### 2. 1 まち案内

これまでは区から会議室用の机を借用して、まち案内に使用していましたが、既製品では案内所の形状と合わずに什器や荷物を効率的に収納することができませんでした。今回、案内所に合わせて机と棚を製作し手元にプリンターを配置することで、まち案内で問い合わせの多かったタウンホールや小田急線地下化跡地商業施設への道案内がわかりやすくできるようになりました。



また、駅周辺の案内サインが十分でないことから、案内所に問い合わせが多い内容を街づくり課へ情報提供し、連携してルートマップを作成しました。その他、窓ガラスに地図を掲示したり、デジタルサイネージを活用した事業PRで案内所閉所時においても情報サービスを提供できるように工夫しました。加えて、地域イベント等と連携することで、開所日数を増やすことができ、町会や商店街の方々にも案内していただくことができました。

10月以降、ボランティアへの交通費補助費の支給は、円滑に事務を進めるため、1日1000円の定額支給に変更しました。

さらに、世田谷区による「下北沢駅周辺街づくりの取り組み」の研修をボランティアに実施することで、ボランティアの区事業の知識を深めることができました。



まち案内の稼働実績は以下のとおりでした。

案内所稼働状況						
年	月	開所日数	利用者数			人数-日数
			合計	日本人	外国人	
2022年	1月	11日	51人	51人	0人	4.6人/日
	2月	17日	164人	164人	0人	9.6人/日
	3月	21日	270人	267人	3人	12.9人/日
	4月	23日	315人	310人	5人	13.7人/日
	5月	15日	187人	185人	2人	12.5人/日
	6月	12日	208人	208人	0人	17.3人/日
	7月	29日	275人	273人	2人	9.5人/日
	8月	20日	277人	276人	1人	13.9人/日
	9月	20日	545人	531人	14人	27.3人/日
	10月	31日	666人	640人	26人	21.5人/日
	11月	16日	461人	438人	23人	28.8人/日
	12月	20日	628人	610人	18人	31.4人/日
2023年	1月	20日	658人	583人	75人	32.9人/日
	2月	24日	488人	445人	43人	20.3人/日

まち案内ボランティアの確保状況は以下のとおりでした。

ボランティア確保状況						
年	月	応募者数	見学者数	練習者数	当番者数	
2022年	4月	4人	4人	2人	8人	
	5月	2人	3人	1人	8人	
	6月	0人	0人	0人	3人	
	7月	2人	0人	1人	8人	
	8月	2人	0人	0人	7人	
	9月	2人	0人	0人	8人	
	10月	0人	0人	0人	7人	
	11月	3人	3人	0人	5人	
	12月	9人	6人	2人	12人	
	2023年	1月	7人	7人	5人	11人
		2月	3人	1人	7人	10人

## 2. 2 清掃活動拠点としての案内所の利活用

案内所の移転に伴い、駅前清掃活動の拠点として案内所の後方に掃除用具置き場を整備することができました。当初は既製品を購入して設置することを予定していましたが、寸法などがちょうどよいものがなかったため、必要な材料を購入及びDIYで製作し、地元の町会や商店街等の清掃活動拠点として利用されております。駅前に立地する案内所を清掃活動拠点として利用していただくことについて、「以前は、自宅から掃除用具を持参してボランティア清掃をしていましたが、便利で使い勝手がよい」と町会や商店街の方々からは好評をいただいております。また、駅前の指定喫煙所からはみ出して路上喫煙する人が多く、ポイ捨てや路上飲みが増長する原因になっておりますが、「駅前で清掃活動をつづけていると、自然と喫煙所内に入ってくれる」と感想をいただいております。



### 3 成果の自己評価

#### 3. 1 まち案内

まち案内所の設備的な整備ができたことにより、プリンターによる問い合わせ個別の地図印刷など、まち案内をより効率的に行うことができるようになりました。ボランティアの獲得が目標に達することはできませんでしたが、地域イベントと連携した案内所を運営することで、開所日数を増やすことができました。ボランティア募集の有料サイトの利用により、応募数を増やすことができましたが、開所日数がまだ十分ではないため、応募数が増えることで、応募者が希望する日時にまち案内をしていないと見学や練習ができないなどの要員不足が発生することがわかりました。従前の応募数は少なかったですが、当案内所でのボランティアとしての募集であったため、見学した人はほぼすべて、その後のまち案内ボランティアをしていました。しかし、新たに始めたボランティア募集サイトからの応募は、応募者は、当案内所に限らずにボランティアを探しているため、見学だけでその後につながらない割合が増えました。そのため、見学や練習のために、運営管理者がまち案内をするしかなくなり、見かけ上の開所日数が増えたのが現状です。ボランティアにボランティアを育ててもらえるなどの対処方法を検討することで、まち案内を毎日開所できるように人員の確保を今後も改善していきます。

#### 3. 2 清掃活動拠点としての案内所の利活用

案内所の移転に伴い、駅前の立地を活かした掃除用具置き場の整備は目標どおりにすることができました。既製品ではなくDIYにしたことで、限られた面積を有効に活用し、駅前清掃活動拠点として使い勝手の良いものにすることができました。今のところ、清掃活動拠点としての利用者は限定的であるため、地元組織に加えて、その他の清掃ボランティアを実施している方々にもお声掛けするなど、清掃活動拠点としての拡充を検討していきたい。